

ワケ カタチには理由がある(番外編 5)

Shape follows
Function & Taste

～ウェストランド・シーウィンド(Seawind)～



[ホワールウィンドと↓]



いつかは忘れてしまいましたが(震災前だったので、もう10年以上前)、静岡ホビーショーで開催されたフェイク機展示企画に出品した架空機です。ウェストランド社が同社のホワールウィンドをベースとした試作雷撃機という設定でした。その当時は、魚雷を吊るし、RATO(rocket assist take off)システムを付けた小型の双発機を作りたい、という、とても熱い情熱がありましたw。艦上機ということでエンジンを空冷に置き換え、垂直尾翼下に着艦フックを収納してます(見づらいですが)。ホワールウィンドでプロペラ気流を避けるために上に上げていた水平尾翼を下におろしたので、本当に作られたら、まちがいなく駄作機になったものと思います。

【模型について】

ベースはエアフィックス(Airfix)社 1/72 のホワールウィンドで、艦上機らしく視界確保のため座席位置を高くして機首を傾斜させてます。

垂直尾翼はイタレリのF4U、脚はハセガワのTBF、エンジンはエアロクラブのメタル製レオニダスエンジン、スピナーはドラゴンのP-61、RATOはモノグラムのB-36の爆弾で、魚雷・プロペラは不明という当時の改造メモが残ってました。



(中川裕幸 2022年8月)